


御前山ビオトープ通信

平成16年11月10日

第12号

編集： NPO「美しい田園21」 清野 

メール：denen21@hb.tp1.jp

ホームページ：

(本号はホームページの掲載記事を再編集したものです)

【案内図】



目次

- 1 第2回引越し大作戦：ハッコウトンボ、コウネ
- 2 古代米の脱穀作業
- 3 河川改修

6月に子供達が一生懸命田植えした稲も、立派に生長して収穫の秋を迎えました。今回は第2回目の引越し大作戦として、稲刈りと、移植作業などを行いました。

地元伊勢畑小学校、水戸農業高校などの児童生徒や遠くは埼玉、東京など各地から百名以上が参加しました。

全員が、炊事班、トンボ班、植物班、脱穀班、土木班の5班に分けて作業です。

1 第2回引越し大作戦

トンボ班



ハッコウトンボのヤコは

数mmと小さい。
専門家の説明と移植作業の指導を受けました。

体長2cm前後で世界最小のトンボ、写真のような湿地に生息しています。

植物班

水路沿いの湿地にミヅギを移植 ため池にコウネ、アサギを移植



2 古代米の脱穀作業

脱穀班



地元の農家などが足踏み式脱穀機2台、唐箕(トウミ)一台、千歯ゴキ一台、他一式の機械、道具を貸してくれました。





農家の人も数十年以上使ったことがないとのこと。歴史の教科書か博物館で見たことありますが、現在もちょうんと使えます

皆で足踏み式脱穀機の体験
こつが解ればかなりスムーズ、おもしろい！！トウミは回転数と開度の調整がかなり難しい作業でした



3 河川改修

土木班



先日の台風22号、23号で小川が大洪水、取水口埋没、土手崩壊と被害甚大、災害復旧作業を実施しました。

スコップ作業、土嚢作りと、特に水戸農業高校の皆さんには活躍してもらいました。ありがとう！！
関東流、伊奈流の治水技術を実践してみました。



炊事班・交流会

昼食は地元から差し入れの野生の猪肉、鮎でバーベキュー集落の婦人グループから芋煮しめ、漬け物などを沢山用意してくれました。

実証圃場で試験栽培したサツマイモ、ゴボウ等で豚汁等々と地産地消の昼食会です。子供たちも満腹でした。

昼食をしながら、参加者の自己紹介、各班の作業報告、意見交換や交流会などを行いました。

作業は大変だったけれど、充実感で一杯でした。水戸から自転車で走ってきた高校生もいました。本当にご苦労様！！

